

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公開番号】特開2000-263271(P2000-263271A)

【公開日】平成12年9月26日(2000.9.26)

【出願番号】特願2000-3698(P2000-3698)

【国際特許分類】

<i>B 2 3 K</i>	<i>26/06</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>G 0 2 B</i>	<i>26/10</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 0 5 K</i>	<i>3/00</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 0 5 K</i>	<i>3/46</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>B 2 3 K</i>	<i>101/42</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>B 2 3 K</i>	<i>26/06</i>	<i>E</i>
<i>B 2 3 K</i>	<i>26/06</i>	<i>C</i>
<i>G 0 2 B</i>	<i>26/10</i>	<i>1 0 4 Z</i>
<i>H 0 5 K</i>	<i>3/00</i>	<i>N</i>
<i>H 0 5 K</i>	<i>3/46</i>	<i>X</i>
<i>B 2 3 K</i>	<i>101:42</i>	

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月14日(2005.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーザ光の光路を偏向可能な光路偏向手段をレーザ光の光路に配置し、前記光路偏向手段により加工部に入力するパルス状のレーザ光の波形を略矩形波に形成してレーザエネルギーを制御することを特徴とするレーザ加工方法。

【請求項2】

レーザ発振器から発振された1個のパルス状のレーザ光を時分割し、時分割したパルス状のレーザ光を加工部に照射することを特徴とする請求項1に記載のレーザ加工方法。

【請求項3】

1個のレーザ発振器から出力されるレーザ光を複数の加工ヘッドに供給するようにしたレーザ加工機において、

前記加工ヘッドの数と同数のレーザ光の光路を偏向可能な光路偏向手段をレーザ光の光路に直列に配置し、パルス状のレーザ光の波形を略矩形にして前記加工ヘッドのいずれか1個に供給するように構成したことを特徴とするレーザ加工機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、請求項 1 の発明は、レーザ加工方法として、レーザ光の光路を偏向可能な光路偏向手段をレーザ光の光路に配置し、前記光路偏向手段により加工部に入力するパルス状のレーザ光の波形を略矩形波に形成してレーザエネルギーを制御することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、請求項 2 の発明は、請求項 1において、レーザ発振器から発振された1個のパルス状のレーザ光を時分割し、時分割したパルス状のレーザ光を加工部に照射することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、請求項 3 の発明は、1個のレーザ発振器から出力されるレーザ光を複数の加工ヘッドに供給するようにしたレーザ加工機において、

前記加工ヘッドの数と同数のレーザ光の光路を偏向可能な光路偏向手段をレーザ光の光路に直列に配置し、パルス状のレーザ光の波形を略矩形にして前記加工ヘッドのいずれか1個に供給するように構成することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】